

本校には、「廊下」という概念がなく、空間を最大限に活用した間取りになっている。教室以外は、多目的スペースという考えだろうか。1階の生徒昇降口を通ると、左右に広い多目的スペースが設けられていて、ところどころに、木のベンチが口の字型に設置されている▼休み時間にそのベンチに座って、ぼんやりしていると、通り過ぎていく生徒や先生方が声をかけてくださる▼実は、現在続けられているノーチャイムの空気感を味わってみたいと思っていたのだが、きっと、多くの生徒や先生方は、くたびれたおっさんが、ベンチで寂しそうに一休みしている・・・と思ったのだろう。みなさん、優しく声をかけてくれた。まずは、このあたたかな雰囲気がうれしい▼さてさて、授業開始時刻5分前ぐらいから、職員室で空き時間を過ごしていた先生方がそそくさと教室へ向かう姿が見える。3分前になると、ホールには、人影もなくなり、生徒の声が塊になって、聞こえてくる。いわゆる雑踏から聞こえる音である▼やがて、その雑踏からの音も聞こえなくなる。授業が始まったのだ。校舎の構造と自分の位置との関係から、授業中の音はほとんど聞こえない。静まりかえっている▼書いている間に、子どもの声がどこからともなく聞こえてきてまた静かになった。時計を見るとちょうどオンオフの変わり目だった。ノーチャイムは、進行形のアクティビティだ。